



脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム説明資料

令和6年7月11日現在

# 地域内外の主体が協力し、復興の加速と持続可能な社会づくりを促進すべく、脱炭素×復興まちづくりプラットフォームを発足しました

## プラットフォーム設立の背景・目的

### 背景・目的

- 環境省では、環境施策の分野から、復興に向けた取組を支援することを目的に、2018年8月より「福島再生・未来志向プロジェクト」を開始し、脱炭素まちづくりへの支援等を実施している
- 国の2050年カーボンニュートラルの実現に加えて福島県は、2040年頃を目処に県内エネルギー需要量の100%以上に相当する量のエネルギーを再生可能エネルギーで生み出す目標を掲げ、環境施策の観点でもまちづくりへの取組が進められている
- 上記を踏まえ、被災12市町村を中心に、復興の加速と持続可能な社会づくりを両輪で推し進めつつ、地域資源を最大限活用した地域循環共生圏を形成すべく、地域内外の多くの主体が共通の目標や認識を持った上で、長期にわたり連携していくことを目指し、「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」を設置した



福島県、被災12市町村が有する課題の共有及び課題解決に向けた具体的手法の検討



課題解決に活用可能な国・県・金融機関等の支援スキームの共有・活用方法の深掘り



官民双方のニーズを相互に理解した事業形成に向けた多様な主体のマッチング



対象地域の広域連携による事業の効率化に向けた検討

# プラットフォームでは10の個別ワーキンググループ（WG）が立ち上がっており、事業の実装化に向けて、情報交換やネットワーク形成を実施しています

## プラットフォームの全体像



浜通り地区の脱炭素と復興まちづくりの実現のための  
情報交換やネットワーク形成

### 情報交換

- 各市町村の脱炭素の取組や課題
- 各事業者の実施可能事業や得意技術
- 国の施策や制度、技術的助言
- 先進事例の共有 等



### ネットワーク形成

- 各市町村の課題に対し、担い手となる事業者や支援ツール等をマッチング
- 必要に応じて、個別WGを立ち上げ、課題解決や事業化に向けて議論を深掘り



個別テーマ別に10のWGを立ち上げ、  
モデル事業の創出に向けた議論を実施

脱炭素×観光による  
地域振興WG

脱炭素燃料WG

脱炭素物流検討WG

帰還困難区域での  
脱炭素化事業検討WG

脱炭素×農業WG

脱炭素建築×復興まちづくり  
WG

ネイチャーポジティブによる  
コベネ検討WG

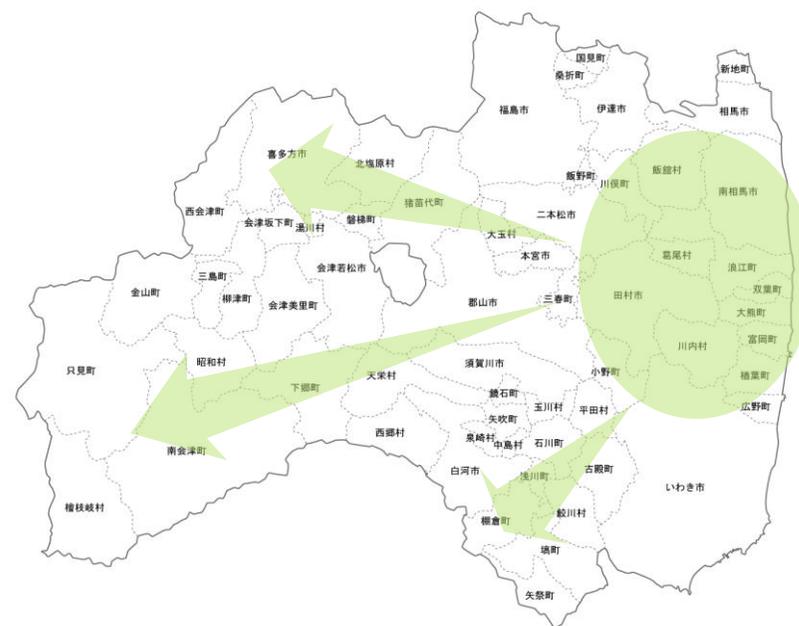
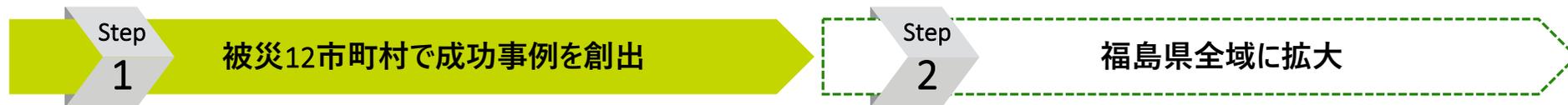
脱炭素経営WG  
(事務局：環境省)

地域還元型電源開発WG

市町村WG  
(事務局：環境省)

# 復興12市町村での知見を基に、福島県全域への展開を想定しています

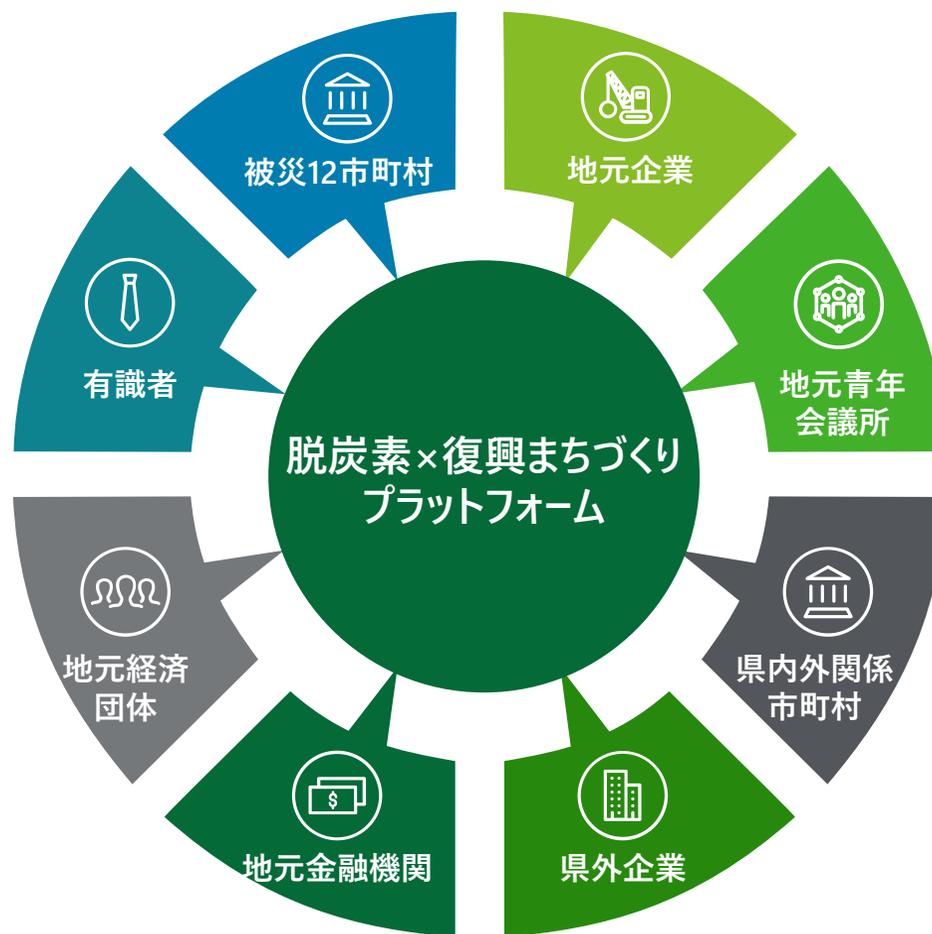
## プラットフォームの対象エリア



# 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームは、多様な法人・個人の参加を受け付けています

## プラットフォームの参加要件

- 脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム参加にあたり、特段の参加要件はございません
- 以下の団体を一例とした多様な法人、または個人単位でのご参加が可能です
  - 被災12市町村、地元企業、有識者、地元青年会議所、地元経済団体、地元金融機関、国の機関、福島県、県内外の関係市町村、県外企業等

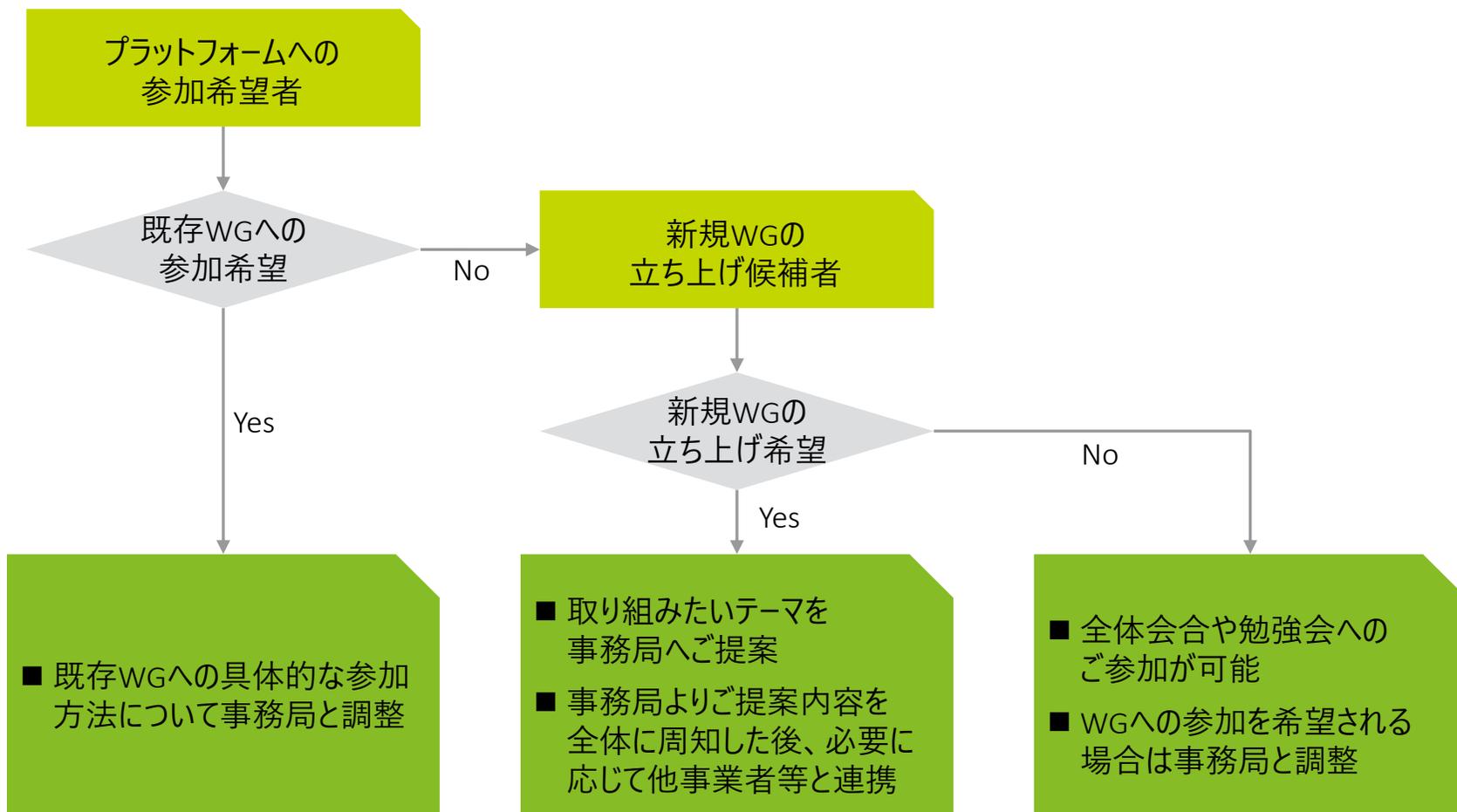


# 脱炭素×復興まちづくりプラットフォームは、多様な関与方法をご提供しています

## プラットフォームの参加方法



意思決定のフロー



今後の動き方

# プラットフォームにご参加いただくことにより、下記のようなメリットが期待されます

## プラットフォームの参加メリット（想定）

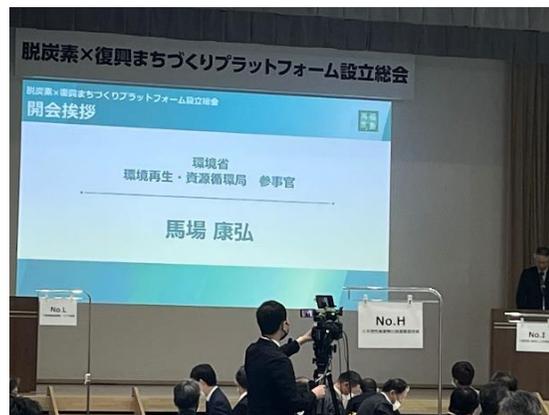
 参加者例	 想定メリット	 ご協力依頼事項
市町村	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 周辺市町村の情報の入手</li><li>■ 国、県の制度、財政支援の把握</li><li>■ 課題を解消する担い手の探査</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 各市町村の将来ビジョン情報の提供、脱炭素に向けた取組の共有</li></ul>
地元企業・ 県外企業	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新規事業の開拓</li><li>■ 復興地での貢献を世にPR可能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 福島県、避難12市町村のビジョン、課題解決の担い手</li></ul>
地元金融機関	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 復興地でまちづくりと脱炭素を両立する取組の知見を得ることが可能</li><li>■ 復興地でまちづくり、脱炭素に取り組む事業者への融資先の開拓</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 避難12市町村で事業をする企業向けの融資の担い手</li><li>■ プラットフォーム参加者の紹介</li></ul>
NPO団体	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 市町村民の要望に対する動きをフィードバック可能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 福島県、避難12市町村の市町村民目線からの課題及び要望事項の提供</li></ul>
有識者	<ul style="list-style-type: none"><li>■ これまで蓄積した知見に基づき、復興地でのまちづくり、脱炭素への貢献</li><li>■ プラットフォーム検討課題の立案に対する助言</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ プラットフォーム検討課題の立案に対する助言</li></ul>

# プラットフォームやWGでは多様なステークホルダーが集まり活発な議論が行われています

## これまでに開催したプラットフォームの様子



全体会合の議論



全体会合の開会挨拶



帰還困WGの議論



農業WGの議論

# 観光WGは、ツアーの具体化に向けた議論が進んでいます

## 個別WGの実施内容

### 脱炭素×観光による地域振興WG [観光WG]

#### 検討テーマ

脱炭素技術など最新テクノロジーを取り入れつつ、福島の魅力や未来への可能性を多くのひとに体験してもらえる「福島体験ツアー」の企画

#### 関連キーワード<sup>\*\*1</sup>

ゼロカーボンパーク | エコツーリズム | サステナブルツーリズム | 緑化  
| グリーンインフラ | 公園 | 自然体験 | 体験型観光 | メタバース  
観光 | VR | AR | バーチャル観光 | 宿泊施設の脱炭素化 |  
EVバス | FCバス

#### 検討状況 (2024年7月時点)

- 直近では、2024年1月12日に4回目のWG開催
- 参画事業者の一部から具体的なツアー企画について報告。プラスチック原料用米の田植え体験、カーボンニュートラル古民家事業、EVバス等による旅行中の移動の脱炭素化、浪江町の水素関連施設や広野町のIGCC等へスタディーツアー等が挙げられた

#### 参画事業者

(順不同、敬称略)

- (株)JTБ
- (株)ふたば
- 合同会社オトナリ
- 日本エヌ・ユー・エス(株)
- (株)バイオマスレジン福島  
(株)バイオマスレジンホールディングス)
- (株)ちの(株)バイオマスレジンホールディングス)
- 大成建設(株)
- 郡山観光運輸(株)
- 郡山観光交通(株)
- (株)孫の手
- 大和ハウス工業(株)
- 住友商事(株)
- ひろのプログレス (合)
- (一社) HAMADORI13
- (株)リクルート
- (株)学研ホールディングス
- (株)福島民報社
- (株)IHI
- (株)大和田測量設計
- (株)スマートアグリ・リレーションズ



\*1: 太字下線付WG内で議論された関連キーワード。その他細字は、テーマに関連すると想定されるWG起点以外のキーワード

# 農業WGでは、バイオプラ等の取組が紹介されました

## 個別WGの実施内容

### 脱炭素×農業WG [農業WG]

#### 検討テーマ

福島県のバイオマス資源を活用した新たな環境配慮型の農業用資材の普及・開発に向けた方策の検討

#### 関連キーワード<sup>\*\*1</sup>

資源作物栽培 | バイオ燃料 | バイオプラスチック | 生分解性マルチシート | バイオ炭 | 営農型太陽光発電 | ソーラーシェアリング | スマート農業 | 肥料散布のドローン活用による自動化

#### 参画事業者 (計20者)

(順不同、敬称略)

- 応用地質(株)
- 日本工営エナジーソリューションズ
- 三菱重工業(株)
- 合同会社オトナリ
- (株)奥村組
- 共栄(株)
- (株)ちーの ((株)バイオマスレジジョンホールディングス)
- 大成建設(株)
- フタバ産業(株)
- 三菱ケミカル(株)
- 東北交易(株)
- アジア航測(株)
- 全国農業協同組合連合会 (JA全農)
- (一社) えこえね南相馬研究機構

#### 検討状況 (2024年7月時点)

- 直近では、2023年12月15日に1回目のWG開催  
以下のサブWGにて議論予定  
①脱炭素×農業の普及、啓発 ②福島県のバイオマス資源を活用した新たな農業用資材の開発 ③脱炭素型の農業用資材を活用した実証試験 (省力化、脱炭素化効果の検証) ④脱炭素型農業の普及・啓発を促進する教育プログラムの実施 (出前授業)
- 参画企業の技術知見を共有し、バイオマス資源の生産から、利活用方法 (バイオプラスチック等) のサプライチェーン全体の議論に加え、農地上空を活用した太陽光発電等農業×脱炭素の文脈で幅広く議論



\*1: 太字下線付WG内で議論された関連キーワード。その他細字は、テーマに関連すると想定されるWG起点以外のキーワード

# 物流WGでは、ドローンやEVトラック等の取組が紹介されました

## 個別WGの実施内容

### 脱炭素物流検討WG [物流WG]

検討テーマ

ドローン活用等を含めた物流分野における脱炭素方策の検討

#### 関連キーワード<sup>\*\*1</sup>

水素 | 燃料電池モビリティ（商用車、産業車両等） | 燃料電池ドローン | ラストワンマイル | 貨客混載・デマンドバス活用 | モーダルシフト | 再配達削減 | 最適ルート、渋滞回避システム | 倉庫内自動化

#### 検討状況（2024年7月時点）

- 直近では、2024年7月2日に4回目のWG開催  
※2024年7月2日～3日に市町村ヒアリング実施済
- 参画企業の技術知見を共有し、水素ドローンの開発・活用方向性や、物流企業独自の脱炭素の取り組み（EV車両の導入、物流倉庫への太陽光発電設備の設置等）に関して議論

#### 参画事業者

（順不同、敬称略）

- (株)ロボデックス
- アポログループ(株)
- 横河レンタ・リース(株)
- ヤマト運輸(株)
- 日本エヌ・ユー・エス(株)
- 大成建設(株)
- あいおいニッセイ同和損害保険(株)
- 日揮(株)
- 楽天グループ(株)
- イオン東北(株)
- 佐川急便(株)
- KDDI総研



\*1：太字下線付WG内で議論された関連キーワード。その他細字は、テーマに関連すると想定されるWG起点以外のキーワード

# ネイチャーWGでは、生態系アプリを活用したエコツーリズムを検討中です

## 個別WGの実施内容

### ネイチャーポジティブによるコベネフィット検討WG [ネイチャーWG]

#### 検討テーマ

ネイチャーポジティブな地域づくりを目指しつつ、脱炭素や復興への相乗便益を最大化させるための施策の在り方の検討

#### 関連キーワード<sup>\*\*1</sup>

エコツーリズム | 生態系アプリ | ワークーション | ウォーキングイベント  
| インベントリ作成 | 自然共生 | OECD | グリーンインフラ | 外来種対策 | 森林管理 | 環境保全型農業 | TNFD | 間伐材活用 | ブルーカーボン

#### 検討状況 (2024年7月時点)

- 直近では、2023年12月20日に3回目のWG開催  
※2024年2月21日に市町村向け勉強会を開催
- 事務局のバイオームを中心に、参画企業の知見・技術を集結。WGの目指す方向性として生物多様性アプリの活用をベースとした賑わいづくりを掲げ、比較的短期で実行しうる取組みの他、中期・長期でのデータベース化（生態系情報や炭素貯留量など）やクレジット活用に関する取組みについても議論

#### 参画事業者

(順不同、敬称略)

- 合同会社オトナリ
- 日本エヌ・ユー・エス(株)
- (株)バイオーム
- 大成建設(株)
- 郡山観光交通(株)
- 日揮(株)
- 富士通Japan(株)



\*1: 太字下線付WG内で議論された関連キーワード。その他細字は、テーマに関連すると想定されるWG起点以外のキーワード

# 帰還困WGでは、現地視察や意見出しを通じて、事業や候補地の検討を深めています

## 個別WGの実施内容

### 帰還困難区域での脱炭素化事業検討WG [帰還困WG]

検討テーマ

帰還困難区域における将来の復興における民間主体での脱炭素化事業の検討

#### 関連キーワード<sup>\*\*1</sup>

建設用車両・機器の電化・水素化 | EV・FCV新規導入／レンタル  
| インフラ工事 | 帰還困難区域 | 路面太陽光発電 | バイオマス  
発電 | ゼロカーボン型SA・道の駅 | ロボット農業

#### 検討状況（2024年7月時点）

- 直近では、2024年6月11日に4回目のWG開催  
※2024年1月26日に現地視察実施済
- 検討対象地と検討事業について、各社・団体の意見を収集
- 事業候補地を大熊町・双葉町と想定し、中間貯蔵施設や復興産業拠点等の現地視察を実施

#### 参画事業者

（順不同、敬称略）

- (株)東邦銀行
- 西尾レントオール(株)
- 福島エコクリート(株)
- パシフィックコンサルタンツ(株)  
東北支社福島事務所
- (株)奥村組
- 共栄(株)
- (株)大林組
- 大成建設(株)
- 西松建設(株)
- (株)ドローン技術研究所
- 東京産業(株)
- (株)熊谷組
- アジア航測(株)
- (一財)日本みち研究所
- (株)エックス都市研究所
- (一社)高純度バイオディーゼル  
燃料事業者連合会
- 大林道路(株)

\*1：太字下線付WG内で議論された関連キーワード。その他細字は、テーマに関連すると想定されるWG起点以外のキーワード

# 建築WGでは、ZEB・ZEHや森林管理に関する各社の取組が紹介されました

## 個別WGの実施内容

### 脱炭素建築×復興まちづくりWG [建築WG]

#### 検討テーマ

福島県産木材等を活用し、住宅等にLCCMやZEB等の技術を積極的に導入し、建物のライフサイクルを通して、脱炭素・循環型の復興まちづくりに寄与

#### 関連キーワード<sup>\*\*1</sup>

ZEB/ZEH | LCCM | HEMS/BEMS | 木材建築材 (CLT、オフセットサイディング) | ペロブスカイト | 民生用蓄電池 | 地中熱ヒートポンプ | CO2吸収・長期固定木材 | 解体処理 | 廃材リサイクル | コンポスト

#### 検討状況 (2024年7月時点)

- 直近では、2024年6月5日に3回目のWG開催  
※2024年5月21日に市町村ヒアリング実施済
- 参画企業の知見・技術を集結し、建築WGの目指す方向性として、建てる前から壊した後までの一貫した脱炭素に加え、オフサイト型・オンサイト型を組み合わせたハイブリッド脱炭素の早期実現を掲げている

#### 参画事業者

(順不同、敬称略)

- 日本地下水開発(株)
- ニチハ(株)
- (株)ACDC
- (株)ふたば
- Ecoいち
- (株)双葉不動産
- (株)ウッドコア
- 大東建託(株)
- 新協地水(株)
- (株)大林組
- 大成建設(株)
- 郡山観光交通(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 福島学院大学
- 協和木材(株)
- にいがた雪室ブランド事業協同組合
- (株)ジオパワーシステム

\*1：太字下線付WG内で議論された関連キーワード。その他細字は、テーマに関連すると想定されるWG起点以外のキーワード

# 電源WGでは、地域に還元される発電事業を検討予定です

## 個別WGの実施内容

### 地域還元型電源開発WG [電源WG]

#### 検討テーマ

風力、太陽光、小水力等の発電事業に関する諸課題に対する地元自治体や地元住民等の地域に還元される仕組みづくりの検討

#### 関連キーワード

風力 | 太陽光 | 小水力 | 木質バイオ | 藻類バイオ | 波力発電  
| ソーラーシェアリング | 系統蓄電池 | 水素 | スマートシティ | 地産地消 | 地域新電力 | マイクログリッド

#### 検討状況 (2024年7月時点)

- 個別WG未開催

#### 参画事業者

(順不同、敬称略)

- (株)東邦銀行
- 大成建設(株)
- 郡山観光交通(株)
- 西松建設(株)
- JR東日本エネルギー開発(株)
- (一社) えこえね南相馬研究機構
- (株)大和田測量設計



# 燃料WGでは、バイオ燃料・水素を活用した燃料供給・利活用に係る事業を検討予定です

## 個別WGの実施内容

### 脱炭素燃料WG [燃料WG]

#### 検討テーマ

資源作物や水素からバイオ・低炭素燃料の供給・利活用に係るサプライチェーン構築の検討

#### 関連キーワード

バイオ燃料 | バイオガス | バイオリファイナリー | 農業残渣（バガス） | エネルギー作物 | 廃棄物油化 | メタネーション | 水素 | 合成燃料 | エタノール | メタノール | CCU | ISCC認証

#### 検討状況（2024年7月時点）

- 個別WG未開催
- 脱炭素×復興まちづくりに資する事業として、地域の農作物・廃棄物（農業残渣を始めとした可燃性ごみなど）やグリーン水素などを、最新技術により脱炭素燃料に変換するサプライチェーンの構築を目指すためのビジネスモデルを検討予定

#### 参画事業者

（順不同、敬称略）

- (株)えこでん
- 応用地質(株)
- 日本エヌ・ユー・エス(株)
- 大成建設(株)
- 郡山観光交通(株)
- 西松建設(株)
- 全日本空輸(株)
- 日揮(株)
- 日鉄エンジニアリング(株)
- デロイトトーマツ コンサルティング（合）
- (株)IHI
- 全国農業協同組合連合会（JA全農）
- （一社）高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会



# 脱炭素経営WGでは、脱炭素化への具体的手法を学ぶ場を提供する予定です

## 個別WGの実施内容

### 脱炭素経営WGのイメージ

#### 目的

- サプライチェーン全体での脱炭素化促進に向け、「知る」「測る」「減らす」という脱炭素化へのステップを学び、取組が評価され企業価値が向上し、投融資や事業機会の拡大を目指す

#### 参加要件

- プラットフォーム参加者であれば、どなたでも自由に参加可能

#### 取組ステップの「イメージ」

##### 取組の動機付け（知る）



##### 排出量の算定（測る）

###### 算定ツールや見える化の提供

- 支援人材が、中小企業を回る際に使う算定対話ツールの提供【R5新規】
- 事業者に対する温室効果ガス排出量の算定ツール（見える化）の提供【R5新規】  
※利用はR6からの予定



カーボンフットプリント（CFP）を活用した官民におけるグリーン製品の調達の推進と、その基盤となるガイドラインの整備

##### 削減目標・計画の策定、脱炭素設備投資（減らす）

事業者に対して、削減計画策定支援（モデル事業やガイドブック等）

- CO2削減目標・計画策定支援（モデル事業・補助）
- 削減目標・計画に係るセミナー開催、ガイドブック策定



事業者に対して、脱炭素化に向けた設備更新への補助、ESG金融の拡大等

- 省CO<sub>2</sub>型設備更新支援（1/3、1/2 or CO<sub>2</sub>削減比に応じた補助）
- サプライチェーン企業が連携した設備更新（1/2 or 1/3補助）
- ESGリース促進
- 環境金融の拡大に向けた利子補給事業（年利1%上限）
- グリーン転換フォーメーション推進計画を実施するために必要な設備資金（環境・エネルギー対策貸付）



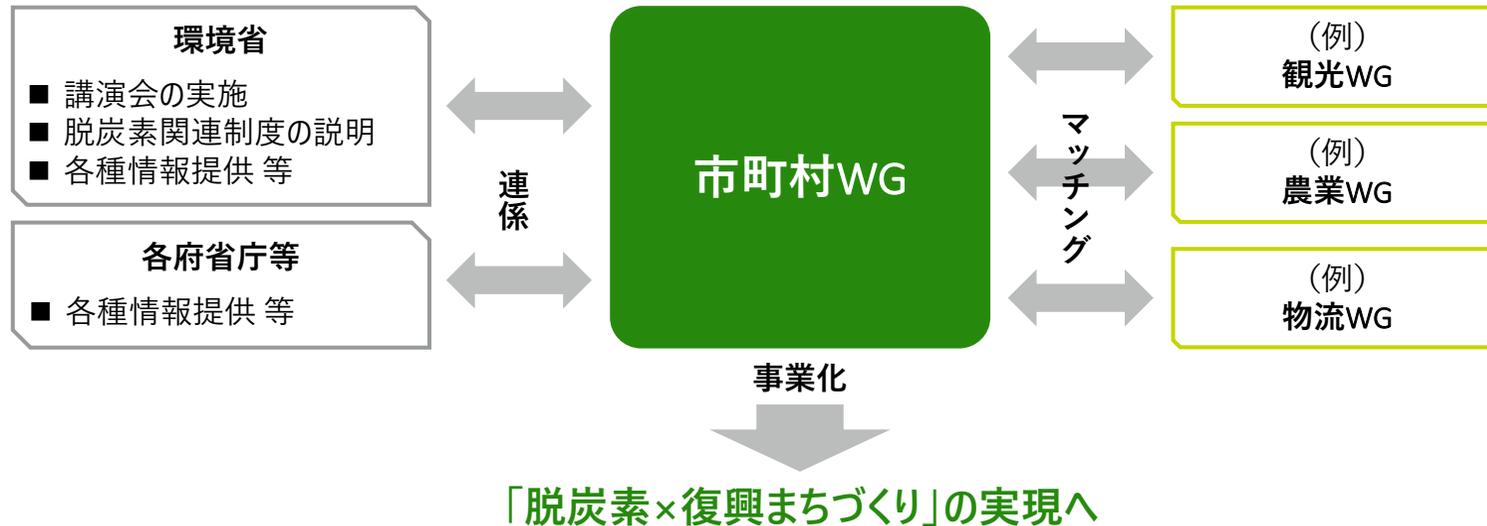
# 市町村WGでは、事業者起点のWGの方向性が決まった段階で、各市町村が抱える課題やニーズと個別WGテーマとのマッチングを行う予定です

## 個別WGの実施内容

### 市町村WGイメージ

- 個別WGでの取組内容が決定するまでは、地域経済循環圏や地方公共団体実行計画に関する講演会や勉強会などを実施
- 個別WGの方向性や取組内容が決まり、実現に向かう段階で、市町村WGへ情報を共有し各市町村が抱える課題やニーズとのマッチングを実施。広域連携による取組みも可
- 市町村が個別WGへ参画し、協働による「脱炭素×復興まちづくり」の実現を目指す

### 取組のイメージ



# 令和7年度までの事業化を目標に、脱炭素×まちづくりプラットフォームでは、 専門家アドバイス等の支援メニューのご提供を想定しています

## 今後の取組案 | プラットフォームの支援体制

事業化までの  
ステップ

### Step1 (令和5年度)

個別WGで事業内容検討

- 地域課題や地域ニーズをもとに取組の方向性・内容を検討するにあたって、議論の場をご提供
- 秘密保持契約が必要な場合は、事業者間で締結

### Step2 (令和5～6年度)

事業化に向けた課題解決

- また、市町村や地元企業等とのチーミングを通じて、事業の持続可能性を高めつつ、外部に訴求するための地盤を固める
- 必要に応じて、経営・法務等の悩みに対して、専門家からのご助言をいただき事業内容を改善

### Step3 (令和6年度)

資金援助の活用を検討

- WGに地元金融機関等が参加している場合は、出資や融資のご活用検討に向けてご助言をいただき事業内容を強化
- 各省庁や自治体の補助金等の活用を目指す場合、関連予算情報をご提供

### 事業化 (令和7年度)

普及拡大

- 更なる事業拡大を念頭に、必要に応じて、対外発信等をご支援

想定支援メニュー

